



INVESTOR RELATIONS デリカレポート

DELICA REPORT

18 第18期 中間事業報告書
2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



デリカフーズホールディングス株式会社
DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

東証 1 部 証券コード 3392

2020 Nov. TOP MESSAGE

代表取締役社長 大崎 善保

株 主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。当期も事業報告をすることができましたのは、ひとえに株主の皆様のご理解ご支援の賜物と重ねて御礼を申し上げます。

当社グループの主力事業であります青果物卸売業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、主要販売先である外食産業の休業状態が続いておりましたが、緊急事態宣言解除以降、徐々に回復の兆しが見受けられました。しかしながら、外食店舗の閉店や撤退の影響もあり、当社グループの販売量の完全回復には至りませんでした。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,042百万円(前年同四半期比31.3%減)となりました。

当社グループでは、このような事業環境の変容を鑑み、新規事業への参入および新たな販路の開拓に着手いたしました。新規事業では、消費者向け直接販売(BtoC・DtoC事業)への参入として4月にはドライブスルー八百屋を展開。7月には「ベジマルシェ」ブランドによるECサイトを開設。9月には同業他社との合併による関連会社「株式会社青果日和研究所」を設立。そして12月より一般消費者の方々に幅広く「安心・おいしい・健康」な青果物を提供する通販事業「青果日和」を開始いたします。

また、これまでFSモデルとして展開してきました当社の加工工場や物流センター、エフエスロジスティクスによる物流網は、スーパー・コンビニエンスストア・給食事業においても高い評価を頂き、新たな販路の開拓が進んでおりま

す。利益につきましては、徹底的なコスト削減に努めてまいりましたが、特に顕著であった第1四半期の売上高減少の影響をカバーしきれず、営業損失は1,354百万円(前年同四半期は342百万円の営業利益)、経常損失は1,015百万円(前年同四半期は373百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は776百万円(前年同四半期は233百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。但し、様々な対応策を迅速に進めた結果、当期9月の経常利益は63百万円に黒字転換を果たしております。

今後もグループ一丸となり、コロナ禍における事業の確立に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



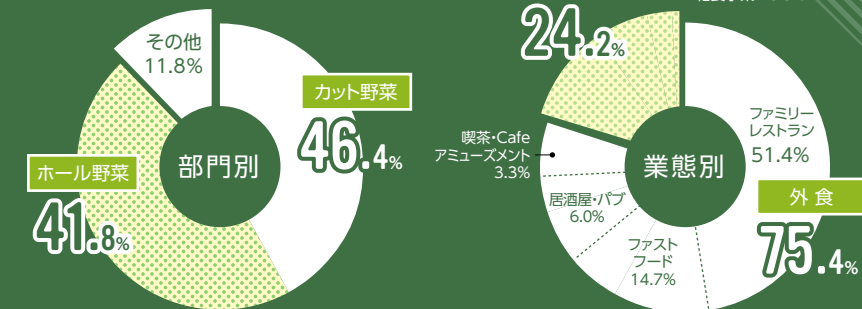
業績の概況

新型コロナウイルス感染症の影響で前年の第2四半期連結累計期間と比べ売上高と利益が減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績

売上高	14,042百万円 (前年同四半期比△31.3%)
営業損失(△)	△1,354百万円
経常損失(△)	△1,015百万円
親会社株主に帰属する 四半期損失(△)	△776百万円
1株当たり 四半期損失(△)	△52.62円

販売構成比



加工していない野菜そのものをホール野菜、お客様のご要望に合わせて加工されたものをカット野菜といいます。また、第三の基軸商品として展開している真空加熱野菜もカット野菜に分類されます。

外食・中食と大きく分けて2つの業態があり、全体の7割以上が外食業界に向けた売上となっております。

※ファミリーレストランには、イタリア料理、中華料理、和食などの業態も含まれております。

取締役のご紹介

取締役



こばやし けんじ
小林 憲司

デリカフーズ株式会社
取締役社長 兼任

取締役



なかやま こんの
仲山 紺之

社外取締役



おざき ひろゆき
尾崎 弘之

社外取締役



しばた みすず
柴田 美鈴

取締役会長



たちもと いさたけ
館本 勲武

デリカフーズホールディングス 新型コロナウイルス対応

2020.01～2020.08

2020.01

日本国内初の感染者発表、その後日本人初の感染確認。



1月末より新型コロナウイルスの感染拡大を受け、順次コロナ対策を講じてまいりました。

- 社内へ海外渡航制限の通達
- 渡航歴の調査、帰国者の健康管理を開始
- 体調不良者の報告、問診などを当社健康管理室が管理
- マスク着用、手洗い、換気、アルコール消毒の徹底など注意喚起
- 研修・会議などでの出張を極力回避しTV会議を推進
- 来客者の体調問診、アルコール消毒の徹底
- パート・アルバイトを含む全従業員に出勤時の検温、体調チェックを実施
- ドアノブ、スイッチなどの不特定多数が触れる箇所の定期的な消毒を開始

2020.03

WHOが「パンデミック」認定、東京五輪の延期を決定。

需要増でマスクの入荷が不安定となり、全国の工場ですマスク在庫管理を開始いたしました。また、小・中学校の休校が全国で開始。外食産業の時短営業・休業が増加。受注量減に伴い、作業の効率化、物流集約、パート・アルバイトの休業など調整に着手いたしました。

2020.05

政府「緊急事態宣言」5月31日まで延長。夏の全国高校野球 戦後初の中止決定。

フードサプライと協業し、5月15日より全国で「ドライブスルー八百屋」を開始。最終的に全国6事業所（東京・神奈川・愛知・兵庫・奈良・九州）で開催され、多くの方にご来場いただきました。



2020.04

世界の感染者が100万人を突破、日本政府が緊急事態宣言を発令。新型コロナ対応の補正予算が成立。

4月7日政府より緊急事態宣言が発令。外食産業の落ち込みが更に加速しました。また、テレワークや外出自粛の影響で、社食など給食事業の受注も落ち込みが見られたため、事業所の一時閉鎖や休配日を設け、更なる作業の効率化、物流集約に注力してまいりました。



－ 4月9日

福岡県宗像市に地上3階建、延べ床面積4,094㎡の「九州事業所福岡FSセンター」を開設。



－ 4月12日

余剰野菜販売を神奈川事業所で初開催。他事業所にも広げ、感染防止のためドライブスルー形式にする。



－ 4月20日

株主様向けの野菜ボックス「生産者を応援しよう!! Vegeボックス」を販売し、ご好評いただく。



－ 4月24日より順次

作業効率の改善のため神奈川事業所・兵庫事業所を一時閉鎖し、業務の大規模集約を実施。
※7月より順次再稼働済み

2020.06

初の「東京アラート」。都道府県をまたぐ移動の自粛要請が全国で緩和。



緊急事態宣言解除により新しい生活様式が推進され、テイクアウト事業や中食事業が好調となりました。6月24日には、コロナ対策を講じた上で当社定時株主総会を開催いたしました。

2020.07

「GoToトラベル」キャンペーン開始。

ベジマルシェの名称で初の通販事業を開始。4月より取り組んでいた野菜ボックスの販売などを活かし、新たに一般消費者向けに販売チャネルを拡大いたしました。

▶6Pにてくわしく掲載!

2020.08

4-6月期GDP年率-27.8% リーマンショックを超える。



あみプレミアム・アウトレットにて、外食産業向け流通余剰野菜を家庭用にアレンジした「新鮮野菜お楽しみBOX」販売イベントを初開催いたしました。

現在の売り上げ推移と今後について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
売上高	1,406,197	1,589,852	2,463,763	2,677,303	2,970,026	2,935,571	14,042,712
経常利益又は損失(△)	△439,445	△259,830	△56,444	△191,480	△131,522	63,287	△1,015,434

外食産業が外出自粛や時短営業などにより大きな打撃を受け、当社グループもその影響で2020年3月以降売り上げが減少いたしました。ですがそのような中、当社は様々な対策を迅速に講じ、当期9月単月の経常利益は黒字となりました。

今後は、「既存取引先への深耕営業」、「テイクアウトを主体とする中食産業への営業強化」、「当社の強みである研究開発を活かしたスーパーマーケットなど小売業態への提案営業」、「消費者への直接販売(B to Cへの販路開拓)」などを実施し、業績回復に努めてまいります。

デリカフーズ 新事業が始動します



人々の「食」の多様化に合わせ
多角的な事業を推進しニーズに対応

当社グループは、日本の農業の発展・人々の健康増進への貢献を目指し、外食・中食産業を基盤に青果物の安定流通に邁進してまいりました。新型コロナウイルス禍において、人々の食とのかかわり方も多様化しています。今後は、そのニーズにさらに対応するため、小売業態への販路拡大や一般消費者への直接販売(B to C事業への参入)など、事業多角化を推し進めてまいります。

01 青果物の新しい価値を創造する合弁新会社 「株式会社青果日和研究所」を新規設立

青果物の販路拡大と価値創造のため、新ブランドを立ち上げ

2020年9月23日に、株式会社フードサプライ、株式会社リトリブとの合弁会社として、「株式会社青果日和研究所」を設立いたしました。日本最大級の青果専門業者としてのノウハウを結集して「青果日和」ブランドを立ち上げ、新鮮な野菜や贈答用の高級フルーツ、加工品の通販をはじめとした、新たな販路と流通システムを創出いたします。また、アパレルや雑貨などを手掛ける他企業とのコラボレーションを企画し、青果物の販売訴求につなげることを計画しております。

合弁新会社概要

社 名 株式会社青果日和研究所
設 立 日 2020年9月23日
代表取締役 竹川 敦史
本 社 東京都足立区六町四丁目
12番12号
資 本 金 500万円

合弁相手先企業



株式会社フードサプライ
代表取締役 竹川 敦史
2009年5月設立



株式会社リトリブ
代表取締役 丸山 朗
1997年7月設立

全国の農家と契約し、新鮮な野菜を外食・中食・介護食産業へ届ける「架け橋」となる企業。商品提供だけでなく、物流や仕入れについてのコンサルティング業務も行う。

「食を通じて豊かな社会生活を」という理念の下、飲食店・食物販店の業態開発コンサルティング、商業施設の開発企画コンサルティング、マーケティングリサーチなど食領域に特化して幅広く業務を行う。



02 青果物の通販・情報提供を行う「VegeMarché」を開始

通販をメインとしたWebサイトをオープン
青果物を使ったレシピや調理動画も掲載

2020年7月に、一般消費者向けのWeb通販事業「VegeMarché(ベジマルシェ)」を開始いたしました。「安心・おいしい・そして健康に。」をコンセプトとし、新鮮な野菜の詰め合わせや、全国から取り寄せた旬のフルーツ、お買い求めやすい青果物などさまざまな商品を提供いたします。さらに、全国で販売イベントも実施し、青果物を多くのお客様にお届けいたします。また、情報サイトでは、旬の野菜を使用したレシピや、プロのシェフによる料理動画を掲載し、「食」がより身近になるような情報発信を行ってまいります。

【VegeMarché Webサイト】

全国の産地から、果物など旬の食材を販売しています。
イベント情報のブログも更新しているのでご覧ください。
<https://vege-marche.com/>



▲VegeMarché ロゴマーク



▲VegeMarché Webサイト



▲あみプレミアム・アウトレットでの販売

03 現在の売り上げ構成比を見直し 安定的に収益を獲得できる仕組みを構築

当社グループでは、今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業環境の変容に順応すべく、新たな販路の拡大を進めてまいります。また、外食産業に大きく依存する現在の売り上げ構成比を見直し、小売業態への販路拡大や消費者への直接販売を行うなど、販路の多様化を推進しています。今後、コロナ禍のような状況においても安定的に収益を獲得できる構造を築くため、新たな取り組みに励んでまいります。

今後の展開



株式会社
青果日和
研究所



「青果日和」ブランドの
ライセンス事業



契約農産物の提供



食と健康を繋ぐ研究開発 及び
商品開発



日本農業の発展 及び
国民の健康増進に貢献する事業



上記通販事業

などの活動を予定

NEWS

デリカフーズホールディングス株式会社

株主優待制度の一部変更に関するお知らせ

この度、当社株式を中長期にわたり保有いただける株主様との関係を、より大切にすることを主な目的とし、株主優待制度を一部変更いたしました。今後もより多くの皆様に当社グループが取り扱う青果物の魅力を認知していただくとともに、健康増進の一助となることを願い運営してまいります。

<変更内容>

保有株式数	優待内容
200株以上300株未満	500円分のクオカード
300株以上400株未満	1,000円分のクオカード
400株以上600株未満	2,500円相当のこだわり野菜・果物・加工品の詰合せ、または2,000円分のクオカード
600株以上800株未満	4,000円相当のこだわり野菜・果物・加工品の詰合せ、または3,000円分のクオカード
800株以上1,000株未満	5,000円相当のこだわり野菜・果物・加工品の詰合せ、または3,000円分のクオカード
1,000株以上	7,000円相当のこだわり野菜・高級果物の詰合せ、または5,000円分のクオカード

EVENT

デザイナーフーズ株式会社

オンラインでのセミナーを実施

デザイナーフーズ(株)では、「食で健康をお届けする」ことを目的に、講演やセミナーを実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が困難となりました。そのような中、新たな取り組みとして、動画やビデオ通話を活用したオンラインセミナーを開始いたしました。これまでのセミナーに参加いただいた方や、食と健康に興味を持つ方へ、オンライン上でもお楽しみいただける糠漬けやソースづくりなどのレッスンタイプと、栄養学などを学ぶ講座タイプの2種類を毎月展開しております。今後も情報を積極的に発信し、皆様の健康に寄与してまいります。



過去に開催した
食育セミナーの様子

オンライン上でも、
皆様に食で健康を
お届けしてまいります



決算レポート (第18期 中間事業報告 要旨)

四半期連結財務諸表と当四半期決算のポイントについてご説明します。

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位：千円

科 目	第17期 前連結会計年度 (2020年3月31日)	第18期 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
■資産の部		
流動資産 ①	8,373,083	8,564,704
固定資産	13,500,342	13,906,026
資産合計	21,873,425	22,470,731
■負債の部		
流動負債 ②	4,825,017	6,557,754
固定負債	9,025,380	8,677,864
負債合計	13,850,397	15,235,618
■純資産の部		
株主資本	7,965,745	7,121,510
その他の包括利益累計額	57,281	113,602
純資産合計	8,023,027	7,235,113
負債純資産合計	21,873,425	22,470,731

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：千円

科 目	第17期 前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	第18期 当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,059,425	△496,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,503,159	△449,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,159,973	1,252,045
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	716,239	305,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,850,540	3,930,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,566,779	4,236,390

①
流動資産

決算数値
POINT

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、8,564百万円となりました。これは、主として現金及び預金が286百万円増加した一方、売掛金が61百万円減少したことなどによります。

②
流動負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて35.9%増加し、6,557百万円となりました。これは、主として短期借入金が1,940百万円増加した一方、未払金が290百万円減少したことなどによります。

四半期連結損益計算書(要旨)

単位：千円

科 目	第17期 前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	第18期 当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	20,429,099	14,042,712
売上原価	15,758,574	11,641,559
売上総利益	4,670,524	2,401,153
販売費及び一般管理費	4,328,523	3,755,375
営業利益又は営業損失(△)	342,001	△1,354,222
営業外収益	48,313	367,486
営業外費用	16,907	28,699
経常利益又は経常損失(△)	373,406	△1,015,434
特別利益	175	271
特別損失	13,106	9,252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	360,475	△1,024,415
法人等	126,602	△247,950
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,872	△776,465

	第17期 前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	第18期 当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益又は損失(△)(円)	15.86	△52.62
1株当たり純資産(円)	540.35	490.08
自己資本(百万円)	7,972	7,235
自己資本比率(%)	37.4	32.2

当社は2019年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産、1株当たり四半期純利益又は損失(△)を算定しております。

青果物の新たな価値を創造し、 「野菜の生産者」と「食の提供者」をつなぐ青果物専門商社



新篠津つちから農場株式会社 @北海道

デリカフーズに野菜を納入していただいている、生産者のみなさんをご紹介します。コーナーです。



当社との出会い

デリカフーズとは、約10年前に大藤久保商店(現・デリカフーズ北海道)の社長のご紹介で取引を始めました。社員の方が産地研修に来てくださることもあり、生産者への心づかいを感じます。

人の手を加えず自然な方法で、 「あたりまえ」に安心して美味しい玉ねぎを栽培

1969年に創業した、新篠津つちから農場。北海道の中では比較的暖かく、泥炭地が多い石狩郡新篠津村で、有機栽培・特別栽培の玉ねぎを生産しています。特別栽培とは、畑を限定し、農林水産省が定めた特別栽培基準で育てること。なかでも、特に上質な玉ねぎに「ねを」というブランド名をつけ販売しています。育てた玉ねぎを自分の作品として世の中に出し、それをお客様に評価していただけることは大きなやりがいです。

栽培をする上で工夫していることは、近隣の農家さんからいただいた稲わらや鶏ふんなどを約一年間発酵させた自家製堆肥を、畑に与えることです。こうすることで、土の中の微生物が増加し、栄養を多く含んだ土になるのです。2014年に行った畑の土1g中の微生物の量を測る調査では、他の畑と比べ最大で4倍の微生物が検出されました。人間が必要以上に手を加えず、玉ねぎが自分の力で自然に育つ環境づくりを意識しています。

私たちが掲げるモットーは「あたりまえ」です。生産者側の商業面での気持ちを押し付けず、「あたりまえ」に自然な栽培方法で、「あたりまえ」に体によく美味しい玉ねぎをつくる。そんな思いで日々農業を行っています。今後も、自然な農業を心がけ「あたりまえ」の栽培をさらに極めていきたいです。

会社概要

2020年9月30日現在

商号	デリカフーズホールディングス株式会社		
英文社名	DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.		
設立	平成 15 年 4 月 1 日		
創業	昭和 54 年 10 月 6 日		
所在地	〒121-0073 東京都足立区六町四丁目 12 番 12 号		
資本金	1,377,113 千円		
従業員数（連結）	590 名（他、平均臨時雇用者数 1,657 名）		

役員

代表取締役社長	大崎 善保	社外取締役	尾崎 弘之
取締役	小林 憲司	社外取締役	柴田 美鈴
取締役	仲山 紺之	常勤監査役	野村 五郎
取締役会長	館本 勲武	社外監査役	森田 雅也
		社外監査役	三島 宏太

会計監査人 仰星監査法人

株式状況

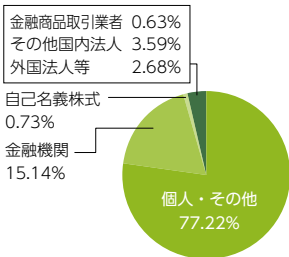
2020年9月30日現在

発行済株式総数 14,872,000 株
株主総数 12,223 名

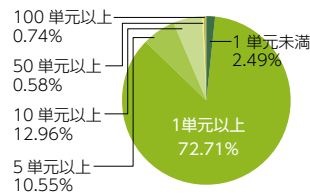
大株主

館本 篤志	2,038,400 株
館本 勲武	1,887,500 株
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	1,300,100 株
大崎 善保	241,800 株
野村 五郎	189,800 株
日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口)	187,800 株
丹羽 真清	185,500 株
株式会社クローバフォー	168,000 株
(株)日本カストディ銀行 (信託口5)	157,100 株
岡本 高宏	153,000 株

株主分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度	4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
期末配当金受領株主確定日	3 月 31 日
中間配当金受領株主確定日	9 月 30 日
定時株主総会	毎年 6 月
株主名簿管理人	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL.0120-232-711（通話料無料） 郵送先 137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 株式会社東京証券取引所（証券コード 3392） 電子公告により行う
上場証券取引所 公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL https://www.delica.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機構（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



デリカフーズホールディングス株式会社
DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.
〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号



デリカフーズ  <https://www.delica.co.jp/>
【お問い合わせ】 TEL 03(3858)1037 FAX 03(5851)1056



本事業報告書は、地球環境への負担を低減させるために、FSC®認証紙と、大豆油などをリサイクルして作られたベジタブルインクを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。